

予算特別委員会

平成19年度の各会計予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、4日間にわたり審査が行われました。採決の結果、全議案とも原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

歳入関係

質疑 市税の滞納繰越状況は。

答弁 調定額で、個人の市民税1億9706万円、法人の市民税1496万円、固定資産税の5億6665万円等があります。

質疑 定率減税廃止による市税への影響額は。

答弁 約1億5000万円の増収を見込んでいます。

質疑 現在、市の借金は全部でいくらかあるのか。

答弁 19年度末で313億4669万円になると見込んでいます。

質疑 市営住宅の家賃滞納者数とその対応は。

答弁 長期的な滞納者は120人で、細かく訪問し滞納整理をしており、分割納付などの指導もしています。

質疑 市営住宅に入居希望の待機者数は。また、単独の高齢者や障害者向けの住宅はあるのか。

答弁 待機者は71人で、高齢者向けに東部団地、単身者向けに金井前原団地にそれぞれ一定の戸数があり、障害者向けには入沢団地に6戸あります。

総務費

質疑 防犯灯の電気料を無料化する考えはあるか。

答弁 現在、旧洪川市と旧伊香保町が自治会への補助そのほかの地区は公費負担ですが、今後検討していきます。

質疑 合併した新洪川市の中で、心の病で休んでいる職員はいるのか。

答弁 平成18年度で、30日以上休んでいる職員は4人

います。

質疑 市民会館の自主事業は1月末現在で1200万円のマイナスだが、市と指定管理者でどういった話がされているか。

答弁 市民からのいろいろな要望を考えて事業を行っているが、結果として赤字が多くなっている。できるだけ赤字を出さないように、全般的な市民に満足してもらえるような計画を立てるよう努力します。

質疑 姉妹都市交流、都市交流について合併後の調整状況は。

答弁 合併前の提携等を踏襲しており、当面は実態に合わせて現行のまま対応し、今後調整していきます。

質疑 庁舎の警備委託の現状は。

答弁 各総合支所については、平日は夜間9時まで職員が行い、その後警備会社に委託。土日、祝日の昼間は日直が対応。本庁はすべて宿日直で対応し、第二庁舎は警備会社に委託していません。

質疑 市長交際費の内訳と算出方法は。

答弁 葬儀の生花代や香典等や市内の各種団体との会合の会費等で、県内他市の状況を参考に算出した。

質疑 総合計画の策定は、具体的にどういう流れで行っていくのか。

答弁 4月、5月で素案をまとめ、6月に市議会全員協議会及び地域審議会を報告し、その後一定の案をまとめ、12月に再度報告し、3月議会で議決を求める予定です。

民生費

質疑 はいかい高齢者に対して、旧赤城村・旧子持村で行っていた家族支援事業は廃止したのか。

答弁 合併協議の中で旧子持村で実施していた事業を選択し、新市で継続していきます。

質疑 市内在住6カ月以内で第二子を出産した場合、祝い金の対象にならないけれども、救済策はないのか。

答弁 現在ではないが、合

併協議の中で残した事業なので、ほかの事業と合わせて今後見直していきます。

質疑 保育所への入所希望による待機者が多いけれども、保育所の定員の見直しや統廃合についての検討は。

答弁 今後公立私立を含め、合併した広範囲の中で適正配置を検討していきます。



再開される環境まつり

衛生費

質疑 一昨年末まで旧洪川市で行っていた環境まつりは開催するのか。

答弁 今年は全地域を対象にして、旧洪川市を会場に行う予定です。

質疑 県の企業局が金井住宅団地を造成したときに埋

の確保は必要だが、できる限りの緑り入れを行います。

介護保険関係 地域密着サービスの内容は。

答弁 主にグループホームへの入所で、19年で107人の利用を見込んでいます。

質疑 施設の待機者数は。

答弁 18年5月の調査で、308人です。



介護の拠点地域包括支援センター

総合病院関係

質疑 人件費比率は。また、同規模の150床の病院と比較してどうなのか。

答弁 75・04%で、全国と同規模病院の55・3%と比べるとかなり高くなっています。

現在5工事しており、19年度は4工事発注する予定です。平成21年度に暫定で開通する予定です。

消防費

質疑 消火栓、防火水槽の設置基準は。

答弁 消防水利の充足率を見て検討しているが、水道管の敷設替えに合わせたり町並みを考えて行ったり、消防署と協議して決めています。

教育費

質疑 北橋幼稚園建設地について、現在地ではなく、別な場所はなかったのか。

答弁 北橋幼稚園の建設に関する調査研究委員会、基本構想検討委員会等で検討したが、安全で安心な保育ができる環境等から現在の場所が改築することになりました。

質疑 建設工事期間中の園児への安全対策は。

答弁 計画では園舎を半分ずつ取り壊し、半分ずつ工事をする事になっていて、が、今後、園児の安全に配慮し、執行段階で検討して

工事を進めていきます。

質疑 旧北橋村で進めてきた北橋第二グラウンドの建設は中止なのか。

答弁 全体的な財源調整の中で当面先送りしました。

質疑 渋川公民館の耐震調査をする予算を計上したという事は、建物を残すことに決まったのか。

答弁 保存を前提に考えているが、調査結果によっては解体もあり得ます。

公債費 市の公債で繰上償還できるものはあるのか。

答弁 高金利のものについては繰上償還したいが、国の方針に基づいて行っている。現在はないけれども、できるものがあれば行っていきます。

国保関係 国保税を払いたくても払えないほど低所得者の世帯が多いが、一般会計や基金からの繰り入れて対応できないのか。

答弁 ルール外の一般会計繰り入れはできません。基金については、一定の金額

の確保は必要だが、できる限りの緑り入れを行います。

介護保険関係 地域密着サービスの内容は。

答弁 主にグループホームへの入所で、19年で107人の利用を見込んでいます。

質疑 施設の待機者数は。

答弁 18年5月の調査で、308人です。

総合病院関係

質疑 人件費比率は。また、同規模の150床の病院と比較してどうなのか。

答弁 75・04%で、全国と同規模病院の55・3%と比べるとかなり高くなっています。

め立てた土について、県が調査を行ったが、その結果はどうだったのか。

答弁 ガス調査の結果、金井住宅団地の一部の地下から検出されたが、地表からは出ていないので現在は健康被害はないと考えています。企業局の造成なので、今後、撤去について県と協議していきます。

農林水産業費

質疑 鳥獣害対策の今年度の予算で電牧柵はどのくらいできるのか。

答弁 全体で86件、延長で約2万5000mの設置をする予定です。

質疑 松くい虫防除による被害木の固形燃料化の考えは。

答弁 現在は被害木を伐採しビニールをかけ、燻蒸剤を入れていきます。既にチップ化は行っているが、固形燃料化については今後調査研究していきます。

商工費

質疑 温泉の排水処理基準の強化に対する検討はしているのか。



新築された第28分団詰所 (赤城町)

質疑 強化されると温泉旅館だけでなく市にとっても大変な負担になるので、新年度に入って早々に対応策を考えなければいけないと思っています。

質疑 消費生活支援センターの相談件数は。

答弁 平成17年度で825件の相談があり、そのうち114件が訪問販売にかかわるもので、60歳以上の高齢者からの相談が約3分の1を占めています。

土木費

質疑 国道17号の前橋洪川

バイパス工事の進捗状況は。

答弁 県道の橋梁下部工事など、18年度の継続事業で